



Rotary 国際ロータリー第2530地区(旧承認番号 3992)

# 郡山ロータリークラブ

## WEEKLY REPORT 2023-2024

第14回

2023  
10.19

世界に希望を生み出そう

### 会長挨拶

菅野秀士 会長



皆さん、こんにちは。今月は米山月間です。本日は米山記念奨学生のス ミャツ、モンさんに卓話を頂く予定でしたが、熱が出て来れないということで、急遽鈴木禎夫さんが卓話を引き受けて頂きました。本当にありがとうございます。

10月24日はロータリー財団の世界ポリオデーです。世界ロータリーはこれまで122カ国30億人以上の子供へのポリオ予防接種を支援して参りました。これにより世界でのポリオの症例数は99.9%減少しましたが、ポリオが世界から根絶されるまでロータリーはこの取り組みを継続します。ポリオのない世界までもうちょっとです。是非皆さん、ちょっとだけ良いことをしてみませんか。

定款細則の改定案を皆さんにご連絡しましたが、審議委員会にも審議して頂き、そして役員理事会でも承認されましたので、皆さんへ報告したいと思います。何か問題はありましたでしょうか。ありがとうございます。今回の定款細則改定は承認ということになります。

### 幹事報告

中原喜範 幹事



当クラブの10月26日(木)は、郡山RC再発会記念日例会のため、時間が夕方6時からに変更になります。会場は当ビューホテルアネックスです。お間違えのないように宜しくお願い致します。

二瓶健一 副S・A・A



11月よりネクタイ着用を宜しくお願い致します。

### ニコニコBOX委員会報告

湯浅大郎 委員長



◎鈴木禎夫さん、急遽の卓話依頼快くお引き受けありがとうございます。お話し楽しみにしております。

菅野秀士君

◎本日10月19日、第14回例会です。鈴木禎夫パスト会長、本日は卓話ありがとうございます。楽しみにしております。誕生のお祝い、ありがとうございました。 中原喜範君

◎突然の卓話、鈴木禎夫パスト会長、大変楽しみにしています。 石黒秀司君

◎鈴木禎夫さん、先日の素晴らしい講演、大変素晴らしいお話しでした。ありがとうございました。 佐藤尚宏君

◎鈴木禎夫氏、よろしく!采女ちゃんに宜しく。 高橋孝行君

◎本日は卓話のピンチヒッターです。チャンスが広がるよう頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。 鈴木禎夫君

◎定款、細則の改訂にご承認頂きありがとうございます。委員会の構成など、中身の検討は今後の課題と思います。 平松敏郎君

◎いつピンチヒッターをお願いされても、どんな話題でも即対応できる鈴木禎夫さん。…ソウイウモノニワタシハナリタイ。 湯浅大郎君

### プログラム紹介

宮川雄次 委員長



本日予定しておりましたス ミャツ、モンさんが急遽欠席ということになりましたので、本日は鈴木禎夫パスト会長そしてプログラム委員メンバーとして、急遽卓話をお願いすることになりました。中身の濃い楽しいお話が聞けると思っていますので、どうぞ宜しくお願い致します。

### 会員卓話

「采女『フィクション』から『ファクト』へ  
～日本の文学史に残されている私たちおこりやまの誇らしい歴史～」

パスト会長 鈴木禎夫君

万葉集にあります「安積山 影さへ見ゆる山の井の 浅き心を我が思はなくに」の歌はどこでうたわれたかということ、それは郡衙であり、まさに郡衙の石碑を建てましょうという我が郡山 RCの事業に関係しています。この郡衙というのは、地方の国の行政の中心であり、郡衙の「衙」という字は囲われた場所という意味で、実際は要塞であったと思われます。歌の読まれた当時、安積郡は不作が続

株式会社 花ふじ

代表取締役 伊藤基文

〒963-8002 郡山市駅前 2-1-2  
TEL 024-932-6029 FAX 024-933-3770

有限会社 伊野積善社

代表取締役 伊野泰司

〒963-8878 郡山市堤下町 8-1  
TEL 024-932-0134 FAX 024-932-0058

いて年貢を3年間納められなかったよ  
うで、葛城王がその調査にやってきた  
ところ、粗末なもてなししかできな  
かった。そういう緊張感のあるところ  
で采女の歌がうたわれたということ  
を前提として頂ければと思います。



「フィクション」(伝説)から「ファクト」(史実)へということで、伝  
説もそろそろ史実へと切り替えましょうということをお断り申し上げ  
たいです。

安積山の歌を現代語訳すれば、「安積山の影まで見える山の井戸  
のような、浅くい加減な気持ちで、私は思っているのではないの  
に」と説明されています。これがどういう場面で詠まれたかというの  
を斎藤茂吉が分かりやすくしています。「葛城王が陸奥国に派遣さ  
れたとき、国司の王を接待する方法がひどく不備だったので、王が  
怒って折角の御馳走にも手をつけない。その時、嘗て采女をつとめ  
たことのある女が侍っていて、左手に杯を捧げ右手に水を持った瓶  
子を持ち、王の膝をたたいて此歌を吟誦したので、王の怒りが解けて、  
楽飲すること終日であった」という伝説ある歌であるということ  
です。前の采女は雅の乙女と書いてあり、それは都風の教養を身に付  
けた乙女であったとのこと。実は左手に杯を掲げ、右手に水を持  
っているという文章がよく理解できていなかったのですが、私は  
そこを、普通は杯だったらお酒が入ってなければいけない  
ということを対比させ、左手に杯を掲げて敬意を表すと同時に傾け、  
中に何も入っていませんよということ。そして采女が王の膝元  
に進んで訴えたということではないかと。つまり、恋心としてあな  
たをいっぱい思っているのに水しかあげられませんということを表  
したのではないかなと思います。非常に知恵のある素晴らしい采女  
なんです。ですから采女物語とは全く違う。凄い知的な歌をうた  
ってその場を和めたということ。

この歌が古今和歌集の仮名序で仮名で書かれた初めての文章だ  
と言われておりますが、そこで紀貫之が「難波津の歌」と一緒に歌を  
始める方の最初に習うものであると仮名序の中に書かれています。  
これも大変素晴らしいことだと思います。万葉集にあって、しかも  
古今和歌集の中にもあの歌は素晴らしいんだとお墨付きをくれたと  
いうことです。2008年5月に栄原永遠男先生が歌木簡を発見しま  
した。その裏と表に難波津の歌と安積山の歌が書かれていたとい  
うことです。古今集の仮名の序文で紀貫之が言っていた素晴らしい歌  
なんだという物的な証拠が挙がってきたということ。これが私  
が言いたい史実ということなんです、これだけでも万葉集、古今  
集、源氏物語、日本の代表する文学の中に、郡山でうたわれた歌が  
あるということだけでも素晴らしいことではないかなと。なぜこれ  
を誇らないんだということを思います。こういう歌がうたわれたと  
いうところに郷土に対する誇りが生まれて来るのではないかなと思  
います。私はこれをまちづくりとして生かしたいと思っているから

です。まちづくりというのは、私達自身が住んでいる郷土を愛して  
いないといけません。誇りを持っていかないとダメです。これだ  
け歴史に残る素晴らしい文学に郡山が詠われているという証拠の  
ある歴史があるのに、それを活用しないということに非常に憤りを  
感じております。

「安積山 影さへ見ゆる山の井の 浅き心を 我が思はなくに」  
は「あ」行で繋がっています。歌としてのリズム感が非常に良いと言  
えます。安積山というのは枕詞と言われていて、枕詞というのは、  
その歌のうたわれる場所を表しています。安積山という言葉が郡山  
であるということをはっきり表しているわけです。安積山のあるこ  
の美しい郷土、安積の守り神の鎮座する雄々しい山、神の守護、安  
積郡内によって平和な安積野ということ。安積というのは無敵  
であるとか、最強、鬼神を思わせるような、そういう強いイメージ  
を持たれる言葉です。最初に蝦夷をやっつける要塞、最前線基地と  
して安積軍団が設けられて、最強の名前を付けたのではないかと  
いう私の仮説です。「影さへ見ゆる山の井の」というのは、雄々しい安  
積山に対して静かで控え目な女性らしさの象徴です。影さへ見ゆる  
というのは鏡です。鏡というのは女性の象徴です。清らかで平らな  
水面は安積野の平和や幸せな生活の象徴、そして山の影「さえ」映  
すという表現は相当に意味深であるということ。すでに恋の歌  
が連想されているが、「さえ」という言葉はもっと他のものが映りこ  
んでいるということ。「浅き心を我が思わなくに」。これは悲恋  
の相聞歌の部分です。大和物語は正に悲恋の部分を取っています。  
そして基本的に女性が、自分の熱い思いが伝わらないことを嘆く言  
葉です。采女は「あなたをこんなに思っているのに」と、王に恋の歌  
を呼びかけた。非常に緊張している場面です。そういう緊張感のあ  
るところに恋の歌を持って来たんですね。采女にそんなことを言わ  
れてホロっときたということじゃないのかなと思っています。非常  
に知的で優美な歌が、踊りとともにそこで伝えられたのではないか  
と思います。

「難波津の歌」は競技かるたの最初に必ずうたわれています。そし  
て盛岡や宮崎では和歌の甲子園、俳句は松山でも俳句甲子園をや  
っています。そういう競技会を郡山で行えば、ひとつづくりに繋がっ  
ていくし、人を呼べるであろうと思います。郡衙があるところは最  
前線だと言いました。そこで采女のような人が出てきて心を和らげ  
るということは、これは世界の平和に対する普遍的な価値観を表し  
ているということだと思います。この歌は郡山が世界の誇るべき歴  
史であり文化であると思います。

## 出席報告

酒井良胤 委員長



総員 / 108名 出席 / 52名 欠席 / 56名  
出席率 / 48.15% 前回修正率 / 57.58%  
他クラブ出席 / 10名

### 国際ロータリー2530地区 郡山ロータリークラブ

会長：菅野 秀士 幹事：中原 喜範  
例会場：郡山ビューホテルアネックス TEL 024-939-1111  
例会日：木曜日  
事務所：〒963-8001 郡山市大町1-2-17 大一ビル1階  
TEL 024-923-0729 FAX 024-939-5678  
郡山ロータリークラブウェブサイトはこちらから  
<http://k-rc.main.jp/>



次回 第16回例会  
令和5年11月2日(木)  
会員卓話

「自己紹介」  
郡山冷蔵製氷(株) 代表取締役社長 安藤 昇君

編集責任者：中原 喜範  
副委員長：鈴木 基修

編集：クラブ会報委員会 委員長：石井 祐一  
委員：伊藤 清郷・伊藤 基文・前田 祐希



FSC® 森林認証紙使用